

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	家庭科
教科担当			
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 (自立と共生を目指して) 東京書籍		
副教材	技術・家庭学習ノート 家庭分野1 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (家庭) 科の目標と評価について

教科の 目標	<p>衣食住生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の 観点	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価 方法	<p>○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、小テスト、作品を評価します。</p> <p>○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。</p> <p>○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。</p> <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (家庭) 科の学習について

進授 め業 方の	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」目標をしっかりと聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組み、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行います。 ・授業の準備物など忘れ物の確認をします。(実習で使う裁縫セット・エプロン、三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫する。 ・ICT機器を活用し、視覚的に分かる授業を展開します。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりする。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みます。
テ ス ト 期	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストと単元テストを行います。 ・テスト範囲は、テスト1週間前までには提示します。

3 年間指導計画 (その①)

4月(10月)	<p>家庭分野ガイダンス</p> <p>①題材名(教材名) 自立と共生を目指そう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関りについて理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。
~5月 (11月)	<p>1編2章 私たちも家族と家庭生活</p> <p>①題材名(教材名) 1 私たちの家族と家庭生活</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 <p>①題材名(教材名) 2 中学生と家族の1日の家庭生活</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 <p>①題材名(教材名) 3 私たちがなう家族・家庭の機能</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。

5月
(11月)
~8月
(1月)

- 6編3章 持続可能な家庭・地域生活
- ①題材名(教材名) 1 家族との関わり
- ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○思考・判断・表現
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・家族の互いの立場や役割について理解している。
 - ・家族と協力することによって、家族関係をよりよくできることについて理解している。

- ①題材名(教材名) 3 地域での協働を目指して
- ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○思考・判断・表現
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。
 - ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることについて理解している。

- 5編2章 責任ある消費者になるために
- ①題材名(教材名) 1 何を考えて決めますか～意思決定のプロセス～
- ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。

- 2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- ①題材名(教材名) 1 食事の役割
- ②主な評価の観点 ◎知識・技能
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・生活の中で食事が果たす役割について理解している。

- ①題材名(教材名) 2 私たちの食生活
- ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・健康に良い食習慣について理解している。

- ①題材名(教材名) 3 栄養素の種類と働き
- ②主な評価の観点 ◎知識・技能
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・栄養素の種類と働きについて理解している。

- ①題材名(教材名) 4 中学生に必要な栄養
- ②主な評価の観点 ◎知識・技能
- ③概ね満足な姿(B規準)
- ・中学生に必要な栄養の特徴について理解している。

2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事

①題材名(教材名)

1 食品に含まれる栄養素

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・身近な食品の栄養的な特質について理解している。

①題材名(教材名) 2 6つの食品群と食品群別摂取量の目安

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。

①題材名(教材名) 3 バランスのよい献立作り

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

・1日分の献立作成の方法について理解している。

2編2章 中学生に必要な栄養素を満たす食事

①題材名(教材名) 1 日常食の調理 2 野菜・いもの調理

3 肉の調理 4 魚の調理

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。

・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。

3編1章 衣服の選択と手入れ

①題材名(教材名)

4 衣服の手入れ①～衣服の補修～

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(補修)について理解しているとともに、適切にできる。

9月(2月) ①題材名(教材名) 5 衣服の手入れ②～衣服の洗濯と保管～

～10月(3月) ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ(洗濯と保管)について理解しているとともに、適切にできる。

①題材名(教材名) 3編2章 生活を豊かにするために

1 作って楽しい布作品

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	家庭科
教科担当			
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 (自立と共生を目指して) 東京書籍		
副教材	技術・家庭学習ノート 家庭分野2 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (家庭) 科の目標と評価について

教科の 目標	<p>衣食住生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の 観点	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、小テスト、作品を評価します。 ○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。 <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

2 (家庭) 科の学習について

進授 め業 方の	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の「めあて」目標をしっかりと聞き、「めあて」を達成するための活動に真剣に取り組み、「めあて」が達成できたか、今日の「まとめ」「振り返り」を行います。 ・授業の準備物など忘れ物の確認をします。(実習で使う裁縫セット・エプロン、三角巾も含む) ・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫する。 ・ICT機器を活用し、視覚的に分かる授業を展開します。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりする。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みます。
テ ス ト 期	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストと単元テストを行います。 ・テスト範囲は、テスト1週間前までには提示します。

3 年間指導計画(その①)

4月(10月)	<p>①教科ガイダンス</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自分の成長を振り返りを通して、中学生の時期にある自分と家族や家庭生活との関わりについて関心を持って、学習に取り組もうとしている。</p> <p>①題材名(教材名) 1 幼い頃を振り返ろう</p> <p>②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・幼い頃を振り返り、自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気づいている。</p> <p>①題材名(教材名) 2 幼児の体の発達</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・運動機能の発達について説明できる。</p> <p>①題材名(教材名) 3 幼児の心の発達</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・幼児の情緒、ことば、社会性の発達についてまとめ、説明ができる。</p> <p>①題材名(教材名) 4 幼児の生活習慣の習得について考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・幼児の生活習慣の形成の重要性和それを支える家族の役割について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 5 幼児の生活と遊びを知ろう①</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p>
---------	--

・幼児にとっての遊びの意義について理解している。

①題材名(教材名) 5 幼児の生活と遊びを知ろう②

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・身体の発達や運動機能、言葉、情緒、社会性などの発達を促していることを理解している。

①題材名(教材名) 5 幼児の生活と遊びを知ろう③ ～幼児のおもちゃを作ろう～

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現

③概ね満足な姿(B規準)

・心身の発達に応じたおもちゃの遊び方について考え、工夫している。

①題材名(教材名) 6 幼児との関わり方を考えよう①

②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

・幼児と触れ合う活動に向けて幼児に関心を持ち、課題を設定して適切に関わろうとしている。

12月～

①題材名(教材名) 7 幼児との関わり方についてまとめよう

1月 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

・幼児の心身の発達に応じた関わり方について、観察したことを生かして、関わり方を考え、工夫している。

①題材名(教材名) 8 子どもにとっての家族について考えよう

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・子どもが育つ環境としての家族の役割を理解している。

①題材名(教材名) 9 家族や地域の高齢者との関わり

②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

・高齢者との関わりについて課題を見つけ、課題解決に向けて実践しようとしている。

①題材名(教材名) 1 消費者としての自覚を持とう

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・契約について理解している。

①題材名(教材名) 2 販売方法と支払方法

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

	<p>・販売方法と支払方法の種類と特徴について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 3 商品の選択と購入～意思決定のプロセス～</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・物資・サービスの選択、購入および活用に関する知識を身につけている。</p> <p>①題材名(教材名) 4 消費者トラブルを解決する方法</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・消費者トラブルに関する知識を身につけている。</p> <p>①題材名(教材名) 5 消費者の権利と責任について考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。</p>
1月 ～2月	<p>①題材名(教材名) 6 よりよい消費生活を目指して</p> <p>②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・よりよい消費生活を送れるよう、自分の消費行動を複数の観点から検討することの大切さを理解し、自分にできることを具体的に説明することができる。</p> <p>①題材名(教材名) 7 エネルギー消費を減らす方法を考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について関心を持ち、環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。</p> <p>①題材名(教材名) 8 持続可能な消費生活を目指して</p> <p>②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自分や家族の消費生活を振り返り、環境アクションプランを考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。</p> <p>①題材名(教材名) 1 生鮮食品と加工食品の特徴</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・生鮮食品の品質(鮮度)の見分け方について理解している。</p> <p>・加工食品の特徴と品質の見分け方について理解している。</p> <p>①題材名(教材名) 2 食品選択と購入 食品の表示</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。</p>

- ①題材名(教材名) 食品の保存と食中毒
②主な評価の観点 ◎知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
・食品の保存方法について理解している。
・食中毒が起こりやすい状況を踏まえ、安全で衛生的に食品を扱うことに関心を持って取り組んでいる。

- 3月 ①題材名(教材名) 3 地域の食材を生かした調理①
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)

・地域でとれる食材について調べようとしている。

- ①題材名(教材名) 4 地域の食材を生かした調理②
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現
③概ね満足な姿(B規準)

・地域や季節の行事食の調理に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。

- ①題材名(教材名) 5 よりよい食生活を目指して

- ②主な評価の観点 ◎知識・技能

- ③概ね満足な姿(B規準)

・食品の安全性について理解している。
・フードマイレージについて理解している。
・食生活と環境との関わりについて理解し、環境に配慮した食生活に関する知識を身につけている。

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	家庭科
教科担当			
教科書名	新しい技術・家庭 家庭分野 (自立と共生を目指して) 東京書籍		
副教材	技術・家庭学習ノート 家庭分野3 沖縄県版		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (家庭) 科の目標と評価について

教科の 目標	<p>衣食住生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
評価の 観点	<p>(知識・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 <p>(思考・判断・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> ○「知識・技能」は、単元テストや実技テスト、小テスト、作品を評価します。 ○「思考・判断・表現」は、レポートや実習等の実践計画書、グループでの話し合いや発表、学習活動の記録をまとめたシートを評価します。 ○「主体的に学習に取り組む態度」は、ノートの記述や授業中の発言、自己評価シートの内容を評価します。 <p>※テストの点数だけでは評価は決まりません。提出物や日々の授業を大切にしましょう。</p>

	<p>①題材名(教材名) 5 生活を豊かにするための工夫をしよう(被服製作)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布を用いた物の製作に関心を持って工夫している。 ・生活を豊かにする方法を考え工夫している。 ・縫い方や用具の安全な取り扱い方が分かる。 ・衣服や小物の製作ができる。 <p>①題材名(教材名) 1 住まいの役割と住まい方を考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいに関心を持ち、住まいの役割について考えようとしている。 ・生活行為と住空間の関係について理解している。 ・日本の各地の住まいとその特徴について理解している。 <p>①題材名(教材名) 2 住まいの安全について考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が安全に住むために、家庭内事故について考えようとしている。 ・家庭内事故の防止について、高齢者や幼児などの視点から、家庭で実践できる方法を考え、工夫している。
<p>9月 ～10月 (1月 ～2月</p>	<p>①題材名(教材名) 3 災害に備えた住まい方について考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた住まい方について理解している。 ・自然災害への備えについて家庭で実践できる方法を考え、工夫している。 <p>①題材名(教材名) 4 健康で快適な室内環境を工夫しよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で心地よく住むための室内環境の条件を理解している。 ・音が生活に及ぼす影響について理解している。 <p>①題材名(教材名) 5 よりよい住生活を目指して</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かし、家族が安全で快適に住むための方法について、さまざまな観点から考え、工夫している。